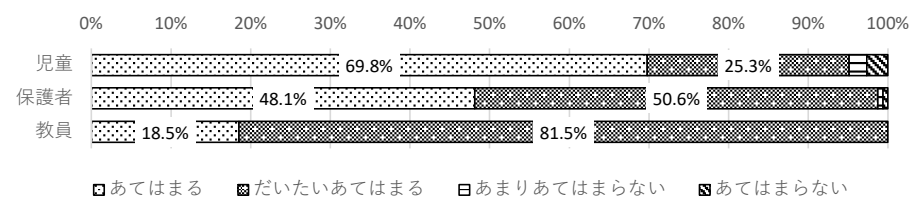
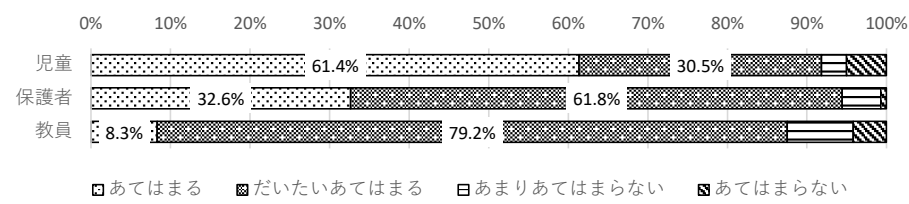


令和6年度　さいたま市立常盤北小学校　学校評価教育アンケート集計結果

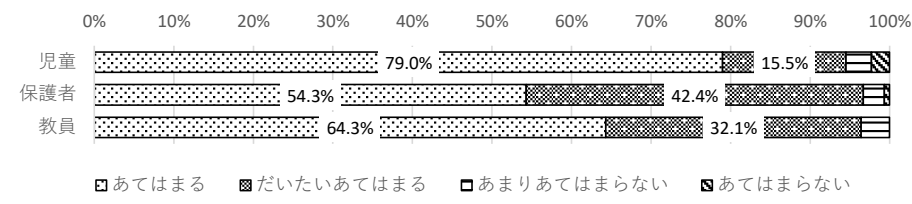
仲よく生活している



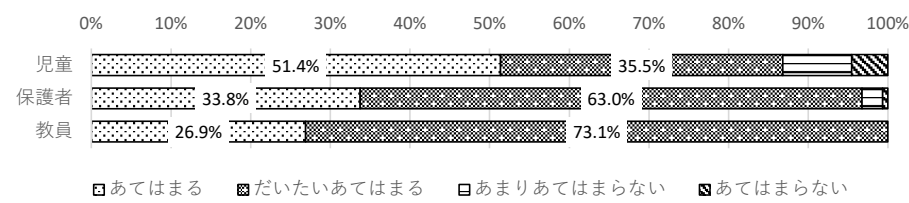
授業が分かりやすい



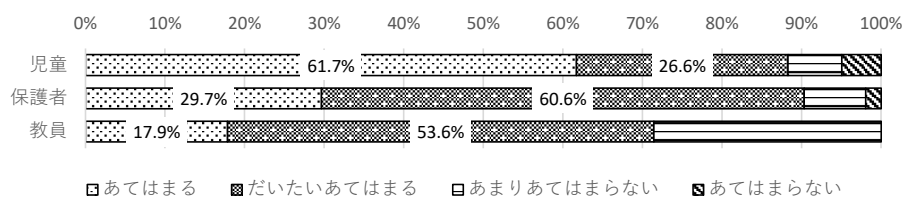
読書を促す取り組みをしている



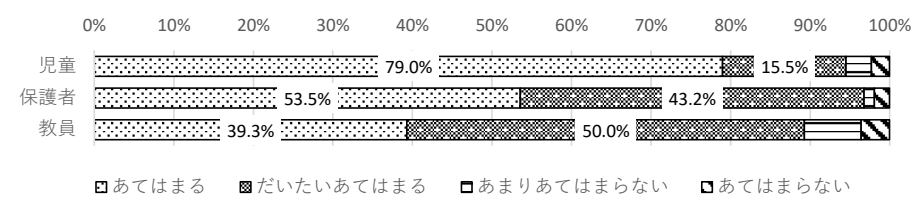
楽しく授業に取り組んでいる



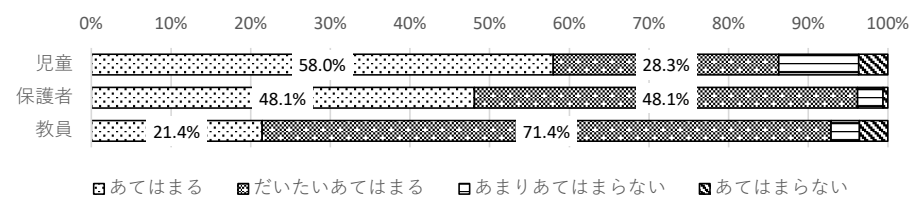
家庭や地域であいさつができています



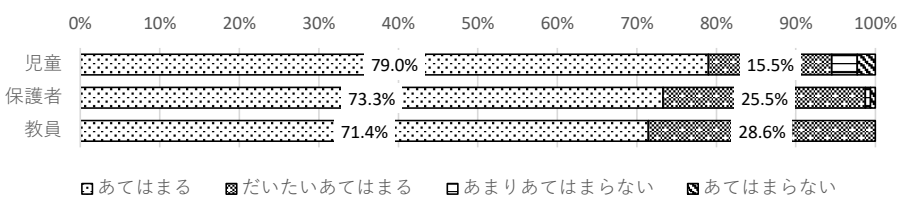
環境を整えきれいな学校づくりに取り組んでいる



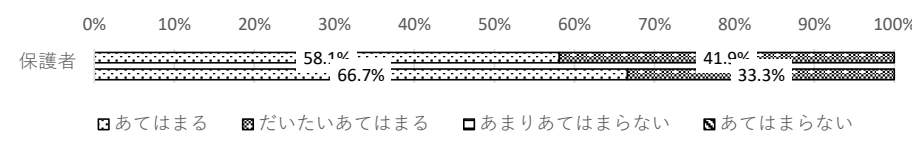
元気に運動している



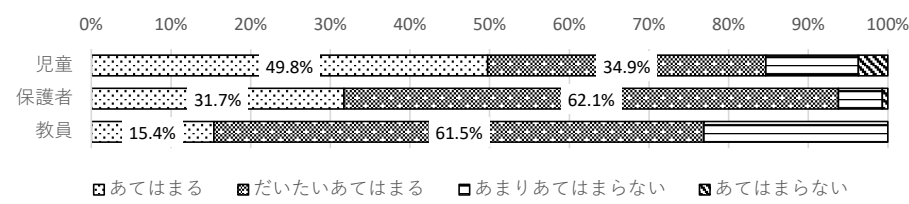
行事を楽しんでいる



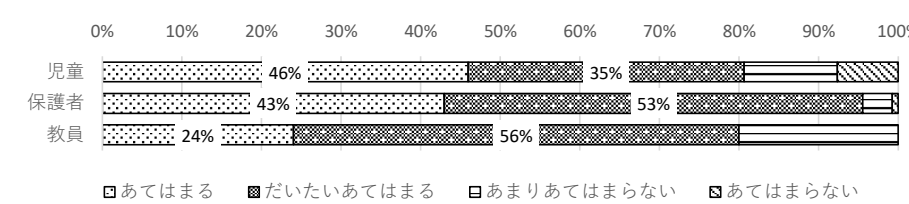
学校行事などで豊かな心の育成に取り組んでいる



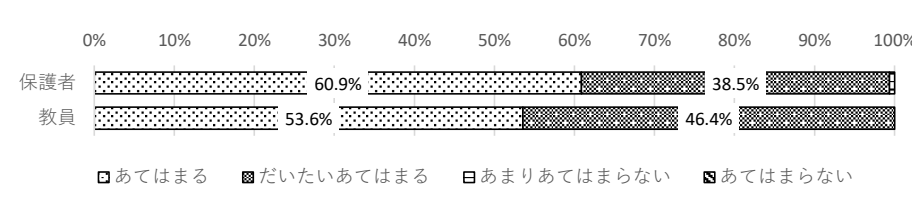
物事を最後までやり通している



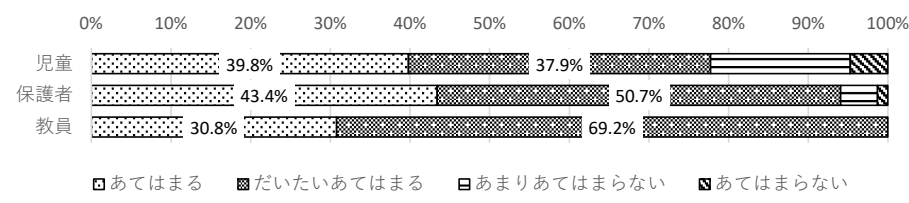
元気が出る言葉を言っている



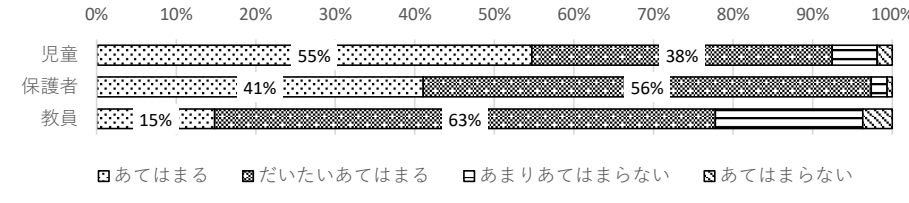
子どもたちの安全を守っている



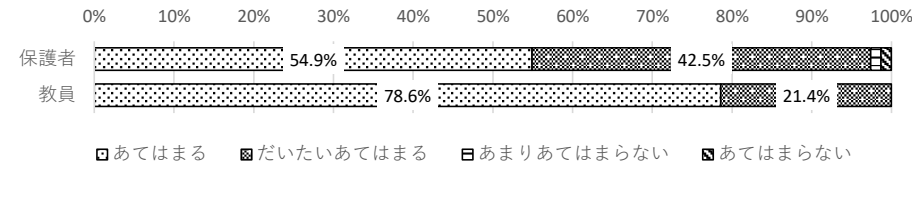
教師から適切な声かけや励ましを受けている



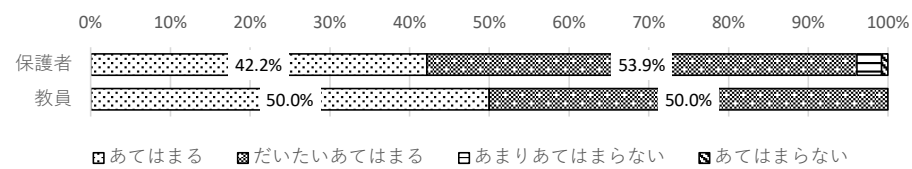
学校のきまりを守っている



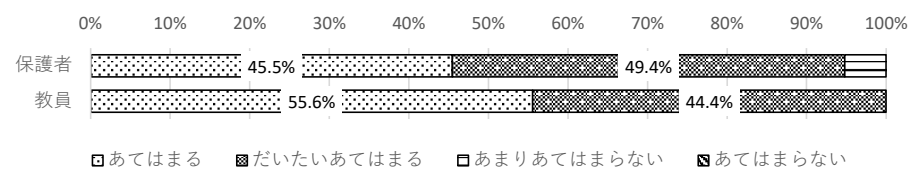
危機管理に対して適切に対応している



子どもたちのトラブルに適切に対応している



保護者からの相談や要望に適切に対応している



【質問項目より】

- ・児童、保護者、教員いずれも、多くの質問項目において、肯定的な回答の割合が高く、前回と同程度の結果となりました。また、どの質問項目においても、最も肯定的な回答が高いのは児童で、楽しく前向きに学校生活を送っていることが伺えます。
- ・「授業が分かりやすい。」の質問項目については、児童の最も肯定的な回答が8%上昇しました。今年度は、教員が学校課題研究で、児童が主体的に学習に取り組めるような手立てを工夫しました。互いの授業を見合う機会も多くとり、指導改善に努めた成果ではないかと考えます。
- ・「家庭や地域であいさつができている。」の質問項目については、児童の最も肯定的な回答が7%上昇しました。保護者や教員の肯定的な評価も向上していることから、常盤北小の児童は「あいさつのできる子」に育ってきている様子が見られます。登校時の児童や地域の方によるあいさつ運動、朝会時など6年生によるあいさつ運動が実を結んできている結果ではないかと考えます。ただ、朝の旗振り当番をしている方からは、「あいさつを返してくれない児童が増えている」との声もありますので、マナーとして当たり前にあいさつできる児童の育成が必要であると考えます。
- ・「豊かな心の育成」の質問項目では、保護者、教員共に肯定的な評価が100%でした。校内音楽会を2部制としましたが、保護者の方にも児童の豊かな表現が伝わったことによる結果であろうと考えられます。また、ゲストティーチャーによるコンサートや福祉体験など、学校だけにとどまらず、本物に出逢う機会を設けたことが高い評価につながったかと考えられます。多くの方が学校教育に関わってくださることに改めて感謝する結果となりました。
- ・「教師から適切な声かけや励ましを受けている。」の項目では、児童の肯定的な評価が8%低下しました。保護者からの評価は7パーセント向上していました。学習や生活の場で、適切な指導や励ましを行うことができるよう、一人ひとりの児童を大切にする気持ちを常に忘れずに今後も取り組んでいく必要があります。
- ・「読書を促す取組をしている」の項目では、最も肯定的な回答が児童・教員共に5パーセント以上上昇しました。今年度の学校経営重点項目にある読書活動の推進による結果であろうと考えられます。今後も週の貸出冊数の増加や図書委員会を中心とした図書イベントの推進、読書ボランティアとの連携・協力を進め、児童が読書に進んで取り組めるようにしていきます。

【自由記述より】

- ・本校の取組や児童の姿について、感謝や励ましの言葉をいただきました。良い面については、さらに伸ばしていけるよう努めてまいります。
- ・環境面でトイレの不衛生さについてご意見がありました。床の汚れについては、クリーニングを定期的に行っていきます。掃除業者さんだけでなく、養護教諭と連携し、トイレの衛生面について気を付けてまいります。また、使い方について、児童への指導も行っていきます。
- ・登下校についてご意見をいただきました。例えば「車がきているのに、道を広がって歩いている」や「低学年が、車を運転している人がいやな気持ちになるような行動をとっている」等の声をいただきました。安全に登下校ができるよう、学校でも定期的な交通ル